

大会運営に関する失格条項及び注意事項を Q&A の形式で以下に掲載するので、参考してほしい。

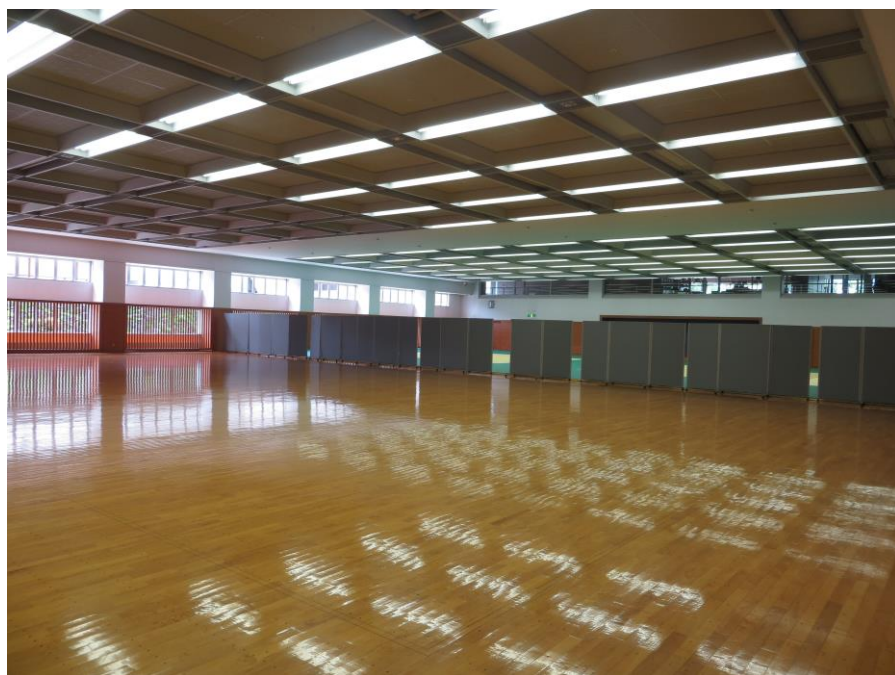
1. 失格条項

- (1) 解答図と電子データ（USB メモリ）が提出されない場合.
- (2) 競技中の不正行為や競技委員の指示に違反した場合.

2. 会場設備及びパソコン

Q 1 競技会場は？

山形市総合スポーツセンター武道場で開催される（下の写真）。奥に見える衝立と畳は、大会当日は取り払って使用される。



Q 2 空調関係（温度や換気、暖房）の状況は？

空調設備は設置されている。寒さ対策用のひざ掛け等を持参して構わない。

Q 3 照明の明るさは？

机の高さで、蛍光灯直下で 1400 ルクス、最も暗い場所で 800 ルクス。

Q 4 アウトレット（コンセント）は？

アース付き 3p・100V のアウトレット（コンセント）4 口(1.5kW) を設置予定。

Q 5 選手エリアのレイアウトは？

1 人あたり 2.4×2.5 m のスペースを確保する。

Q 6 選手はどのような配置で並ぶのか？

座席は抽選で決めるが、その配置は未定。

Q 7 机のサイズと台数は？

選手 1 人あたり長机 W1800×D900×H700 mm を 1 台、W1800×D600×H700 mm を 1 台の、合計 2 台を設置予定。肘掛なしの OA 椅子 1 台を設置。

Q 8 停電時の対策は？

無停電電源装置(UPS)は設置しないので、データの消失が心配な選手は UPS を持参すること。

Q 9 会場に設置される解答図印刷用のパソコンとプリンタの仕様を知りたい。

Autodesk Product Design Suite Ultimate 2017（最新版）がインストールされた 3 台のデスクトップパソコンが設置される。ただし、本システムは選手のパソコンとは接続されない。プリンタの機種及び台数は選定中。

Q10 選手が準備するパソコンはデスクトップ型、ノート型のどちらか？

どちらでもよいが、停電や故障対策を怠らないこと。

Q11 持ち込んだパソコン類を事前に設定したい。

パソコン類の設定は、10 月 21 日（金）9:10~12:00 の時間帯で行うこと。

Q12 故障を考えて予備パソコンを持参したい。

予備パソコンを持参してもよいが、故障等による競技途中の交換は選手本人が行い、交換に要する時間はロスタイムに含めない。

Q13 予備のパソコンを選手の競技エリア内で電源 ON の状態で待機させておきたい。

かまわないが、予備パソコンを切り替えスイッチ等でディスプレイに接続することは禁止する。

Q14 パソコン類の盗難対策は？

パソコン類の盗難については保証できない。パソコン及び持参工具は、いったん設置したら、大会終了まで外部に持ち出すことはできないので、セキュリティワイヤーロックなどで予防しておくこと。

Q15 持参できるモニターの仕様は？

1 台のパソコンには 1 台のディスプレイに限るが、市販のモニターで机の上に載るものであれば、大きさや性能は問わない。

Q16 会場に準備されているプリンタに持参したパソコンを直接接続して出力したい。

認めない。

Q17 プリンタを持参したい。

原則として、主催者側が準備したプリンタを使用すること。ただし、選手持参の CAD ソフトがそれに対応しない場合に限り、A1 タイプの印刷が可能であり、かつ、選手のスペース内に設置可能な機種であれば、選手一人につき 1 台持参してもかまわない。1 台のプリンタを複数の選手で共用することはできない。なお、電源容量の関係から、プリンタを持参する場合は事前に主催者に届け出ること。

Q18 プリンタ用紙は、何を使用するのか？

詳細は未定。

Q19 簡易製図機械（卓上ドラフター）を持ち込みたい。

認めない。

Q20 テスト印刷用のサンプル図面には何を持参すればよいのか？

出力の確認ができる図面（電子ファイル）なら何でもかまわないが、1 分程度で印刷が完了する程度の図面であること。

Q21 10 月 21 日（金）の時間内にテスト印刷が完了しない場合、引き続いて関係者による機器等の調整を行いたい。

特別処置として、同日午後の時間を使用して印刷設定を行ってもよい。ただし、その時間を使っても設定が完了しない場合はそのまま終了し、翌日の競技は選手個人が対処する。

3. CADソフト

Q 1 印刷用の CAD ソフトが Autodesk 社製なのはなぜか？

技能五輪国際大会において、標準の設備であるため。

Q 2 持参するパソコンの OS が Windows 以外であるが参加できるのか？

印刷用プリンタを持参すれば参加できる（2. 会場設備及びパソコン Q17 参照）。

Q 3 「持参工具一覧表」で指定されたファイル形式以外の CAD ソフトでは参加できないのか？

印刷用プリンタを持参すれば参加できる（2. 会場設備及びパソコン Q17 参照）。

Q 4 使用する CAD ソフトが Inventor と互換性がないため、Inventor をインストールしたもう 1 台のパソコンを持参して、不具合を修正したい。

2 台目のパソコンを持ち込んでもかまわないが、競技委員の立会いのもとで図面データの転送を行い、正常に転送できた後は 1 台目の電源を切ること。2 台を同時に使用することはできない。

Q 5 Inventor のバージョンが会場に設置されるバージョンと異なるが問題はないか？

印刷用パソコンにインストールされている Autodesk Product Design Suite Ultimate 2017 は、基本的に旧バージョンを読み書きできることになっているが、保証はできない。Autodesk 社から体験版を無償で提供してくれるので、HP で確認すること。

Q 6 図面印刷用のパソコンには USB メモリ以外のメディアは使用できるのか？

解答図は、主催者から貸与された USB メモリに保存してプリンタに出力するので、他のメディアは認めない。選手が持参するパソコンには USB 端子が付いていること。

Q 7 会場に準備される図面印刷用パソコンに、持参する CAD ソフトをインストールして印刷したい。

認めない。

Q 8 2D-CAD 及び 3D-CAD ソフトは何でもよいのか？

「持参工具一覧表」で指定されたファイル形式で読み込み可能であれば何でもよいが、3D-CAD ソフトについてはソリッドモデルが作成できること。

Q 9 持参する CAD ソフトに、記号等を事前に登録しておいてよいのか？

登録しておいてよい。

Q10 テスト印刷以外で文字化け等を確認できる機会はあるのか？

ない。

Q11 持参する CAD ソフトで使用するフォントの設定は？

AutoCAD DWG ファイルを印刷する場合、印刷設定ファイルには極力、特殊な線種・フォントを用いないこと。DXF ファイルについては、正常に出力できるようなフォントを選択しておくこと。

Q12 印刷設定ファイルを保存したい。

印刷設定ファイルは、テスト印刷の段階で、貸与した USB メモリに保存しておくこと。

Q13 持参工具一覧では「図面の印刷だけに用いるので、選手が使うソフトは読み込み可能なファイル形式であればよい」とある。3D データは Inventor 形式に指定されているが、2D データは DWG でもよいということであれば AutoCAD Mechanical で作成しアウトプット（印刷）も同 CAD で行ってもよいのではないかと？ わざわざ Inventor 2D にする必要はないのではないかと？

3D 作成で Inventor を使用し、2D 変換で AutoCAD Mechanical を使用することは一向にかまわない。

Q14 CAD の特性から、寸法公差表示で許容差が 0 の場合でも符号がついてしまうなどの不具合があるが、そのままにしておいてもよいのか？

JIS に適合するよう修正すること。

4. 競技課題

4.1 第 1 課題、第 2 課題共通

Q 1 課題図及び課題文は非公表か？

競技開始直後に、見学者に公表する（当日公表）。

Q 2 競技は、1 課題を 1 日ずつ、合計 2 日間で行われるのか？

その通り。

Q 3 競技課題の内容は、前回と同様と考えてよいのか？

前回とほぼ同様である。

Q 4 競技時間内に作品を提出しても、競技時間終了時に作品を提出しても減点や加点は無いと考えて良いか？

その通り。

Q 5 解答図の図面サイズは？

第 1 課題、第 2 課題とも A1 サイズである。

Q 6 課題図に鉛筆やマーカーペンで書き込んで良いのか？

自由に記入して良い。

Q 7 第 1 課題・第 2 課題ともにハッチングは必要か？

断面図の切り口にハッチングを、施しても施さなくてもよい。

Q 8 フィレット（R 部）の一括表記をしてもよいのか？

フィレットの丸みについて、それらの大部分が同じ寸法である個所については「指示のない角隅の丸みは R〇

(○は丸みの半径)とする」と、図中に注記して一括指示してもかまわない。

Q 9 今年3月に JIS B 0401「寸法公差及びはめあい」が改定されたが、新規格を適用するのか？

新規格では、基準寸法、寸法公差、公差域クラス等の名称が、それぞれ図示サイズ、サイズ公差、公差クラス等に変更された。しかし、新規格を適用すると旧規格との間で定義の解釈に混乱が生じる恐れがあるため、本大会では旧規格を適用することとする。

4.2 第1課題

Q 1 課題図は第三角法で描かれた組立図が、紙で与えられるのか？

その通り。

Q 2 課題図の寸法をスケールで測定するのか？

その通り。

Q 3 3D-CAD を使用してもよいのか？

2D-CAD、3D-CAD のどちらを用いてもよいが、解答図は第三角法(2D)で描かれていること。

Q 4 3D-CAD で作図した場合、解答図のフィレットは接線エッジで表示してもよいのか？

第1課題の解答図はすべて JIS に基づいて製図すること。したがって、フィレットがかかった二つの面の交わり部は“相貫線”で図示し、リブなどを表す線の端末は「JIS B 0001:2010 機械製図」の図 76 のように処理すること。

Q 5 表面性状の一括指示は可能か？

表面性状の簡略図示方法（「JIS B 0031:2003 製品の幾何特性仕様(GPS)―表面性状の図示方法」の図 23、図 24 または図 25）を用いて、除去加工以外の面も含めたすべての面に記入すること。

4.3 第2課題

Q 1 第2課題は、どのような内容なのか？

与えられた実物モデルを、持参した測定具を使用して測定、スケッチする。スケッチを基にソリッドモデルを作成し、アセンブリ機能を用いて配置し、マスプロパティを計算する。さらに主要部品については、製作に必要な 2D 図面を描く。

なお、来年度（第 55 回大会）から、第 2 課題に“簡単なアニメーション”を追加する。概要については本大会終了後に告知します。

Q 2 課題の与え方は、どのようになるのか？

競技開始前に課題部品（実物モデル）を配布し、機能を説明する。

Q 3 実物モデルは機械加工品なのか、鋳物部品または射出成形品なのか？

今回の課題は、プラスチック樹脂成形品である。

Q 4 実物モデルは、どの程度の大きさを想定しているのか？

W150 × D150 × H150 mm 以下を考えている。これを超える場合は、課題文にサイズを記述する。

Q 5 実物モデルは競技途中で回収するのか？

回収しない。

Q 6 測定、スケッチの最中に CAD を使用できるのか？

測定、スケッチの最中に CAD を立ち上げ、これをモデリングに使用してもかまわない。

Q 7 実物モデルの測定誤差の許容範囲はどれくらいか？ 機械加工面では？ 鋳肌面では？

測定値は小数点以下 2 桁目を四捨五入した値を用いること。例えば、測定値が 52.26 mm であれば、図面入力の数値は 52.3 mm となる。

Q 8 外形の寸法は 1 桁でも可能だが、穴の位置は穴の中心位置を測定しているわけではなく、基準面から穴の下面の位置を測定しておりまた穴間の壁面同士も測定しているので、穴径との関係もあり 1 桁にまとめると誤差が大きく生じてしまう。

実物モデルの加工精度及び持参測定具の測定精度を考慮すると、小数点以下 2 桁目の数値は誤差が大きすぎて意味をもたない。そのため、測定値の小数点以下 2 桁目を四捨五入して小数点以下 1 桁の数値に丸め、それを使用すること。ご質問の穴間隔についても同様である。

Q 9 ねじ形状はどこまでモデリングするのか？

めねじ内径またはおねじ外径の測定値に基づく円筒または円錐面をねじの実体とし、ねじ山形状はモデリングしないこと。ただし、穴機能でねじを作成するとねじ部にねじのテクスチャが自動生成されてしまう場合があるが、これはそのまま表示しておいてかまわない。

Q 10 解答図 (2D 図面) のねじの表記はどこまで表記すればよいのか？

ねじの 2D 表記は「JIS B 0002:1998 製図—ねじ及びねじ部品」に従って描くこと。

Q 11 解答図 (2D 図面) のリブやアームなどは断面しない状態で製図するのか？

解答図はすべて「JIS B 0001:2010 機械製図」に従って描くこと。

Q 12 2D 図面の寸法記入はどこまで行えばよいのか？

「JIS B 0001:2010 機械製図」で言うところの寸法については、すべて記入すること。

Q 13 モデルを 2D 化したときの図面上のフィレットは、どのように表示するのか？

フィレットは、接線エッジで図示すること。二つの曲面が交わる部分の相貫線は図示しなくてよい。線種は CAD のデフォルト値を使用してよい。

Q 14 選手に要求される各種の解答図はどのような目的に使用されるのか？

各解答図の使用目的と要求事項は、以下のとおり。

(1) ソリッドモデル外観図の JPG 画像

JPG 画像で提出されたソリッドモデルの分解組立図及び各部品図。これらの図はカラー印刷されるため、見栄えのする色と方向で保存すること。

(2) 2D 図面

第 2 課題はあくまでも、実物を測定・スケッチしてソリッドモデルを作成する競技である。ソリッドモデルには実物の形状と寸法に関するすべての情報が含まれており、本来は、これをディスプレイ上で採点することが望ましい。しかし、現状では 3D-CAD 上での採点は困難なため、同時に作成された 2D 図面を用いて採点する。

(3) ソリッドモデルの体積を表示した JPG 画像

JPG 画像上に記載されているマスのプロパティの数値を、採点の対象とする。なお、数値は JPG 画像で保存すること。CAD ソフトが異なるためにマスのプロパティの数値がわかりにくい場合は、あらかじめその場所を示す画面の一例を競技委員に提示すること。

Q15 履歴は見るのか？

確認のために閲覧することもあるが、採点対象にはしない。

Q16 Print Screen の画像データは、各自が使用する CAD ソフトの画像圧縮ファイル形式で作成してよいか？

JPG など、Microsoft ペイントで見ることができるピクチャーファイルで保存できればよい。

Q17 USB メモリに保存するソリッドモデルの電子データの保存形式は、各選手が使用する CAD ソフトのファイル形式でよいのか？

かまわないが、できるだけ IGES, SAT, STEP で保存すること。

Q18 第 2 課題の実物モデルにケガキ線等を入れてもかまわないか？

かまわない。

Q19 実物モデルは競技終了後もらえるのか？

差し上げる。

5. 持参工具

Q 1 使用するパソコン類や測定具等を宅配便などで搬入したいが、いつから可能か？ また、あて先は？

後日、選手向けに大会事務局からアナウンスされる参加要領を参照のこと。

Q 2 予備のパソコンや持参した測定具を保管しておく倉庫はあるのか？

競技エリア内に持参工具置場を用意している。重いものを運ぶための台車があると便利だと思われる。

Q 3 機器類は下見受付の際に持参してもよいか？

直接持参するのはかまわないが、同日の集合時刻に間に合うこと（時間厳守）。

Q 4 「持参工具」で指定された測定具以外を持参してはいけないか？

指定された測定具のみを使用して、工夫して測定すること。

Q 5 工具を載せる台などを持参してもよいか？

持参してよい。

Q 6 ノギス 150 mm 程度とあるが、それより大きくもかまわないか？

かまわない。

Q 7 測定具の先端を加工して使用してもよいか？

測定具を改造して使用してはならない。

Q 8 円弧ゲージ、ピッチゲージのサイズはどの位が必要か？

ゲージ類、工具類は市販品でよい。

Q 9 ドライバは何に使うのか？

実物モデルを分解組立するために用いる。選手にその構造を理解してもらい、分解された部品をスケッチに利用してもらうためである。分解にてこずるようであれば競技委員等が手伝う。選手全員が分解し終わるまでは、競技は開始しない。

6. 競技中

Q 1 競技時間と休憩時間の配分は？

休憩時間は、「VDT 作業における労働衛生管理のためのガイドラインについて（基発第 0405001 号，平成 14 年 4 月 5 日）」に基づく処置と，トイレ休憩のために設けている。

Q 2 休憩時間に選手は自由に行動できるのか？

トイレ休憩以外は，自席で休憩すること。

Q 3 昼食は，競技会場で摂るのか？

昼食は競技会場と別のフロア，または屋外で摂っていただく予定。

Q 4 競技時間が延長されることはないのか？

競技の進捗状況により，第 1，第 2 課題とも延長はあり得る。

Q 5 競技中にトラブルが発生した場合，付き添いの手助けはできるのか？

できない。選手対応である。

Q 6 競技中，検図のために紙への印刷は何度でも可能なのか？

可能だが，順番待ちで並ぶこともあり得る。

7. 解答図の印刷

Q 1 図面の出力方法を知りたい。

各選手は，解答図を保存した USB メモリを会場に設置されたデスクトップパソコンに差し込み，それと接続されたプリンタで印刷する。

Q 2 出力する図面はカラーでもよいのか？

用紙に出力された図面は白黒（モノクロ）に限る。

Q 3 解答用紙はA1の大きさで，四周をそれぞれ20 mmあけて輪郭線を引くことになっているが，プリンタとの関係でどうしてもずれて20 mmとれない場合もあることが予想されるが，どのくらいの誤差まで許されるのか？

プリンタの機種の特性に依存する場合は不問とする。

Q 4 データには出力されない線もあるが，残しておいてよいのか？

残っていてもよい。

Q 5 選手はどのような順番で印刷するのか？

順番に印刷していただく。時間内に印刷できない場合は席次の最後に回って，再印刷することができる。

Q 6 プリンタを持参した選手は，どのような順番で印刷するのか？

他の選手全員の終了時刻までに印刷が終了していればよい。

Q 7 解答図の印刷中に文字化け等の不具合があったとき，図面を修正できるか？

印刷のやり直しは，プリンタの尺度のミス，図面のズレ，カスレなど，印刷にかかわる調整のみとする。なお，異なった CAD システムを使用した際の線種の変換程度の軽微の修正は，印刷中でも認める。

8. 採点・作品展示

Q 1 第1課題と第2課題の配点および採点方法はどうか？

配点，採点基準は公表しているので，それを参照のこと．

Q 2 採点は印刷した図面で行うのか，USB メモリの扱いはどうなるのか？

採点は出力された図面で行う．採点時に USB メモリのデータを参照することがある．

Q 3 過去の優秀作品で，課題説明文にはない指示（投影法や尺度）が書かれている例があったが，とくに減点にはならないのか？

課題説明文に書かれた要求事項だけが採点対象となる．それ以外が書かれてあった場合は，それが JIS に準じて正しければ不問であるが，誤っていれば減点される．

Q 4 1 位作品の取扱いはどうなるのか？

大会終了後，中央職業能力開発協会のホームページで公開する．

以上